

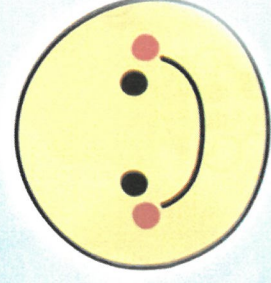


9月は 世界アルzheimer（認知症）月間です



今年度の認知症月間キヤッチフレーズ

（忘れても 笑顔で暮らせる 街づくり）



★新しい認知症観★

認知症になつてからも、一人ひとりが個人として生きる「人・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができる」という考え方もあります。

【国の認知症施策推進基本計画より】



『チームオレバシ』とは

「チームオレバシ」は、認知症サポーター等と地域で暮らす認知症の人をつなぎ、一緒にチームを組んで活動する取り組みです。認知症の人がどう暮らしていきたいのかの「声」を聴き、ともに活動を考えていくことから始まります。

認知症の本人もチームの一員となつて、主体的に活動するのが、「チームオレバシ」。「困りごと」に寄り添うばかりでなく、認知症の人の「やりたい」「続けたい」「はじめたい」等の本人の思いを大事に、認知症サポーター等と認知症の本人が、「ともに」活動する。ともに活動することで、顔の見える関係につながり、住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくりにつながっています。

浅川町には「チームオレバシ ほっとはあと」「チームオレバシ くるむ」が活動しております。

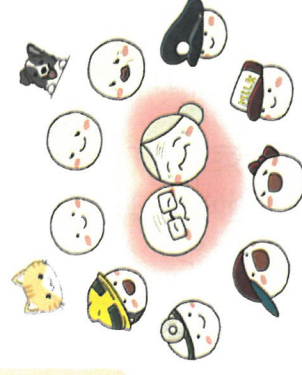
※認知症サポーター養成講座修了者向けに、ステップアップ講座を開催しています。チームオレバシは、ステップアップ講座修了された認知症サポーターが中心に活動していますので、次回来年の一月に、ぜひ、ステップアップ講座を受講ください。

認知症サポーターとは

認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。友人や家族にその知識を伝える、まちで働く人として手助けするなど、自分のできる範囲で活動してもらっています。

浅川町には認知症の講習を受けた方が講師となり、地域のサロンや小学校、民生委員や、役場職員等対象に、認知症の基礎知識を伝え、認知症サポーターを増やす取り組みを行っています。

「興味のある方はぜひ講座を聞いていただき、私たちと一緒に、認知症サポーターとして、安心して暮らせる浅川町を目指していきたいと思います。」



希望宣言とは？
詳しくはこちらから



認知症とともに暮らすご本人一人ひとりが、自らの体験と思いを言葉にしたものです。2018年11月、一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ（JDWVG）が表明したものです。

認知症とともに生きる希望宣言

- 1 自分自身がとらわれている認知症の話を、誰かに聞いてほしいと思います。
- 2 認知症の話を聞かされて、大切にしたいことを伝えたいと思います。
- 3 認知症の話を聞かされて、大切にしたいことを伝えたいと思います。
- 4 認知症の話を聞かされて、大切にしたいことを伝えたいと思います。
- 5 認知症の話を聞かされて、大切にしたいことを伝えたいと思います。

オレバシカワ『ほっとはあと』

令和3年12月からスタートしたオレバシカワ『ほっとはあと』は、毎月一回、包括支援センター（保健センター内）で開催しています。ためになる講話や個別相談、脳トレなど、毎月内容を変え、四季を感じる季節のイベントを開催しています。

スタートしてからもつづける年。ほっとする飲み物を飲み、美味しいおやつを食べながら、参加者やボランティアや職員が、笑顔あふれる時間を過ごしています。興味のある方は、包括支援センターにお申込みください。

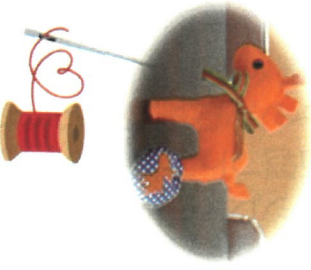
今年度

今後の予定

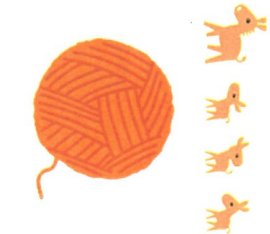
9月16日(水)	午後
10月15日(木)	午後
11月19日(木)	午後
12月17日(木)	午後
1月21日(木)	午後
2月18日(木)	午後
3月18日(木)	午後



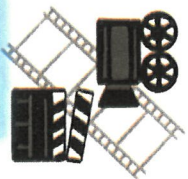
チームオレノジ色で



チームオレノジ色で、手芸好きの方が集まってできたグループです。かわいらしいロビーのマスケットキヤンタ「ロバ隊長」のキーホルダーを製作し、小学6年生対象の認知症サポーター養成講座受講者についで、認知症の理解促進とチームオレノジ色でついで、認知症の理解促進とチームオレノジ色でついで、認知症の理解促進と



映画上映のお知らせ



★代表者 3名の皆さん



★小学校におじゃましました



感謝

『ケア二つ』に心を映く花』
介護・看護・医療など人のケアに人たちのヒーロー・ドラマ
※出演：巨塚純貴 島かおり 綿引勝彦 他
昨年引き続き、9月のアルハイム・月間に合わせ、映画上映をいたします。
みなさんで、認知症を正しく理解し、病気にすることも自分らしく過せる地域について、考えてみませんか？
◆上映場所：あとかね図書館
◆上映期間：9月1日～9月30日
※上映時が指定されていますので
予約が必要です。（1回定員15名）
◆料 金：無料
◆申込先：浅川町地域包括支援センター 電話36-4723

認知症講演会のご案内

認知症の人をひとりにしない地域づくり～
つながりが一人一人を支え、支え合うということ～

日時

令和8年10月19日(月)
14:00～15:30
(受付13:30～)

会場

浅川町保健センター

定員

80名程度
※参加費は無料です。



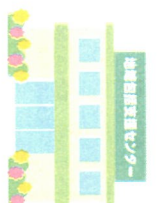
講師 橋本 好博先生
(はしもと よしひろ)
特定非営利活動法人 豊心会
副理事長兼統括介護長

認知症介護指導者として、福島県内の地域住民に対して認知症の理解を深めるために啓発活動を行われています。認知症の人が「その人らしく」暮らし続けられる地域社会の実現に向けた活動が評価され、日本認知症ケア学会において認知症介護実践ケア賞を受賞されました。

包括支援センターは保健センターの中にはあります。



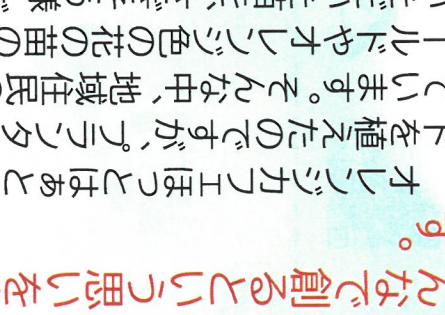
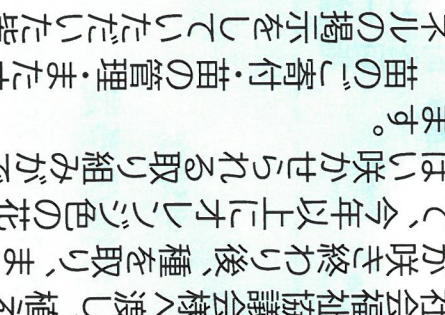
高齢者のみなさんやその家族、近所で生活する方の介護に関する相談や心配、健康や福祉、医療や生活に関することなど、専門職（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）が相談に応じ、総合的に支援しています。
自分自身や家族、友人など周りの人が「ちょっと前と違うかも?」
『もしかして認知症では?』と思われる症状に気づいたとき、介護について悩んだときに相談することがあります。
症状には個人差がありますが、前と違う本人や家族の変化に気づき、適切な治療が受けられれば、認知症の進行を遅らせることもあります。一人で悩まず、まずは相談してみてくださいね。



高齢者の総合相談窓口です 包括支援センターは

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者のみなさんを介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から総合的に支えるための拠点です。

オレノジ色で
いっぱい
浅川町を
めざして



オレノジカラー

前回発行の第26号の包括だよりの中で、オレノジカラーの取り組みの紹介をしました。

認知症になっても暮らしやすさを
みんなで創るという思いを込めて、活動で

オレノジカラーは、はあとの中で、アノールを植えたのですが、アノールでの育て方に苦戦しています。そんな中、地域住民の方々が、アノールやオレノジ色の花の苗の寄付がありました。いただいた苗を、オレノジカラーで育て、オレノジカラー協賛会へ渡し、植えていただきました。花が咲き終わる後、種を取り、また来年につないで広げて、今年以上にオレノジ色の花を、浅川町の中でいっぱい咲かせる取り組みができたと思っております。苗の寄付・苗の管理・またオレノジカラーのハートの掲示をしていただいた皆様、ご協力、ありがとうございました。



滝輪地区



川音酒店

